

「2025 年度 国際園芸博覧会会場における工事監督支援業務委託」
のプロポーザルに係る提案書評価基準

表 1 の評価項目及び配点ウエイトのもと、評価を行います。
各評価項目の評価の着目点は表 2 のとおりとします。

表 1 基本的事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実施体制 (30 点)	管理技術者	同種又は類似の業務の実績の内容	15		
	担当技術者	同種又は類似の業務の実績の内容	15		
提案内容 (80 点)	【課題 1】業務の実施方針に関する提案 業務実施の具体的な方法、また業務品質の確保等について、より高水準な業務遂行をするために取り組むべき事項等の提案がされているか。		40		
	【課題 2】本業務における技術提案 同一工事エリア内で横浜市の関連事業が輻輳する状況下において、安全、かつ円滑な施工を実現するために、施工状況等の把握手法について本業務の留意点を踏まえた技術提案がされているか。		40		
ヒアリング (40 点)	理解力や専門技術力があるか		20		
	取り組み意欲が感じられるか		20		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等 (6 点)	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）		1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）		1		
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク）の取得、又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼしマーク）の取得		1		
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得		1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%を達成している（従業員 40 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 40 人未満）		1		
	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得		1		
業務遂行能力 (10 点)	事業経費の積算は妥当で、費用対効果が高いものとなっているか		10		
評価点の合計（166 点）					

評価方法

- (1) 業務実績及び業務遂行能力は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容及びヒアリングは、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 評価点については、次のように配点を行う。
 - ア 業務実績の各項目
配点 15点 A=15点、C=9点、E=3点
 - イ 提案内容の各項目
配点 40点 A=40点、B=32点、C=24点、D=16点、E=8点
 - ウ ヒアリングの各項目
配点 20点 A=20点、B=16点、C=12点、D=8点、E=4点
 - エ 業務遂行能力
配点 10点 A=10点、C=5点、E=0点
- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、各項目を1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) 提案内容及びヒアリングの評価項目において、D、E評価のあるものは原則として選定しない。
- (6) 評価点について最上位の者が2者以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。
- (7) 業務実績及びワーク・ライフ・バランス及び業務遂行能力に関する取組等は、1者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- (8) 提案内容及びヒアリングは、1者ごとに各評価委員が評価を行う。
- (9) 業務実績、提案内容、ヒアリング及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。
- (10) 評価点は、評価委員1名につき満点で166点とし、評価委員全員の合計で166点×5名=830点で満点とする。
- (11) 共同企業体を組成する場合、業務実績は、1者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (12) 共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (13) 評価委員が欠席した際には、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を行う。
- (14) ヒアリングを実施しなかった場合には、ヒアリングに関する評価はC（40点×3/5=24点）とする。
- (15) 提案された見積金額を業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の点数の合計点で除した数値を1点あたりの費用金額とし、これが少ないものをより優れているものとする。
見積金額÷（業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の合計点）=1点あたりの費用金額

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		A	B	C	D	E
業務実施体制	管理技術者	同種又は類似の業務の実績は十分か	過去10年間に国・都道府県・政令市の工事監督支援業務において管理技術者としての実績を2件以上有する	/	過去10年間に国・都道府県・政令市の工事監督支援業務の実績を1件以上有する	/	過去10年間に国・都道府県・政令市の工事監督支援業務の実績を有していない
	担当技術者	同種又は類似の業務の実績は十分か	過去10年間に国・都道府県・政令市の工事監督支援業務の実績を5件以上有する	-	過去10年間に国・都道府県・政令市の工事監督支援業務の実績を1件以上有する	-	過去10年間に国・都道府県・政令市の工事監督支援業務の実績を有していない
提案内容	【課題1】業務の実施方針に関する提案 業務実施の具体的な方法、また業務品質の確保等について、より高水準な業務遂行をするために取り組むべき事項等の提案がされているか。		業務内容を十分に理解した具体的で実現性が高く、かつ創意工夫に優れた提案である	業務内容を理解した具体的で実現性が高い提案である	どちらともいえない	業務内容は理解しているが、具体性や実現性が十分とは言えない提案である	業務内容の理解が十分でなく、提案に具体性や実現性に欠ける提案である
	【課題2】本業務における技術提案 同一工事エリア内で横浜市に関連事業が輻輳する状況下において、安全、かつ円滑な施工を実現するために、施工状況等の把握手法について本業務の留意点を踏まえた技術提案がされているか。		業務内容を十分に理解した具体的で実現性が高く、かつ創意工夫に優れた提案である	業務内容を理解した具体的で実現性が高い提案である	どちらともいえない	業務内容は理解しているが、具体性や実現性が十分とは言えない提案である	業務内容の理解が十分でなく、提案に具体性や実現性に欠ける提案である
ヒアリング	理解度・専門技術力があるか		十分な理解に基づいた的確な提案である	理解に基づいた的確な提案である	どちらともいえない	やや理解が乏しい提案である	理解が乏しい提案である
	取り組み意欲が感じられるか		強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	やや意欲が認められない。	意欲が認められない
業務遂行能力	1点あたりの費用金額		業務遂行の費用対効果が1番目に高いものの	/	業務遂行の費用対効果が2番目に高いものの	/	業務遂行の費用対効果が3番目以下に該当するもの